『現実からまなぶ国際経済学』正誤表（ver.7）

2025.12.4　有斐閣

【第 1 章】

●32 ページ　（1）式

誤：2 国間の貿易額 $= \dfrac{\text{輸出国の GDP}\times\text{輸入国の GDP}}{\text{2 国間の距離}}$

正：2 国間の貿易額 $= \mathrm{A} \times \dfrac{\text{輸出国の GDP}\times\text{輸入国の GDP}}{\text{2 国間の距離}}$

※A は定数を意味する

●35 ページ　5 行目

誤：上位 20 位の多国籍企業

正：上位 25 位の多国籍企業

●47 ページ　13 行目

誤：知的財産権保護の観点も兼ね揃えた

正：知的財産権保護の観点も兼ね備えた

【第 2 章】

●62 ページ　7 行目

誤：(Q1「買う」＆ Q2「売らない」)

正：(Q1「買わない」＆ Q2「売らない」)

【第 3 章】

●109 ページ　Exercise　演習問題　3.2 a.

誤：自国で生産された原材料を用いてポルトガルがイギリスにワインを輸出する場合,

正：ポルトガルが自国産の原材料を用いて生産したワインをイギリスに輸出する場合,

●110 ページ　Exercise　演習問題　3.2 c.

誤：中国で組み立てられた iPod が,

正：中国で組み立てられた iPad が,

【第 5 章】

●146 ページ　下から 3 行目

誤：価値が低く

正：価値が高く

【第 6 章】

●162 ページ　8 行目

誤：企業の外部的な

正：企業に外部的な

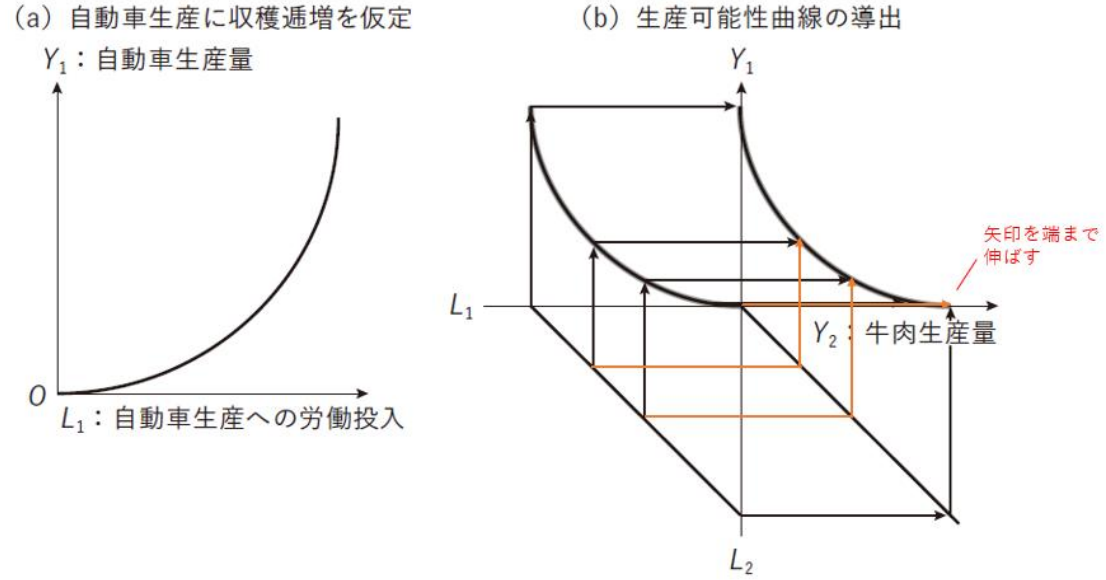
●162 ページ　10 行目

誤：企業の内部的な

正：企業に内部的な

●168 ページ　図 6-2

図 6-2　収穫逓増を仮定した場合の生産可能性曲線



【第 9 章】

●235 ページ　「大国の関税による厚生効果」の項　7 行目

誤：需要量が 117 なので

正：需要量が 170 なので

●235 ページ　「大国の関税による厚生効果」の項　13 行目

誤：12000（$=160\times160\times\frac{1}{2}$）

正：12800（$=160\times160\times\frac{1}{2}$）

●238 ページ　2 行目

誤：需要関数

正：需要曲線

●251 ページ　表 9—2

誤：アメリカ政府がボーイングに補助金を支給した場合

正：EU がエアバスに補助金を支給した場合

【第 10 章】

●270 ページ　12 行目

誤：国内のワイン供給が需要が

正：国内のワイン供給が

●276 ページ　（1）式

誤：　i国からj国への輸出額 $= \dfrac{\text{輸出国}i\text{の GDP}^{\beta_1} \times \text{輸入国}j\text{の GDP}^{\beta_2}}{\text{2 国（}i\text{・}j\text{）間の距離}^{\beta_3}}$

正：i国からj国への輸出額 $= \mathrm{A} \times \dfrac{\text{輸出国}i\text{の GDP}^{\beta_1} \times \text{輸入国}j\text{の GDP}^{\beta_2}}{\text{2 国（}i\text{・}j\text{）間の距離}^{\beta_3}}$

※A は定数を意味する

【第 11 章】

●298 ページ　12 行目

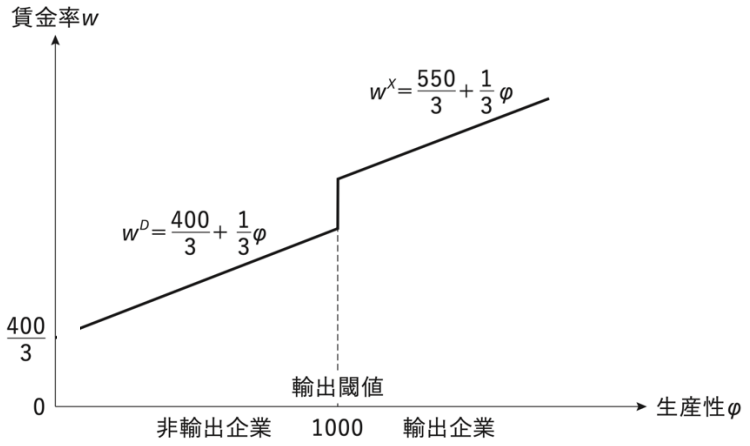
誤：非輸出企業の賃金は

正：$\varphi > 0$について，非輸出企業の賃金は、

●299 ページ　図 11-5

賃金関数の範囲は，端点を除く。

図 11–5　企業の生産性と賃金



出所：Helpman, Itskhoki and Redding［2010］をもとに筆者作成。

【補論】

●312 ページ　下から 2 行目

誤：limports＝－34.14＋

正：limports＝－33.75＋

●314 ページ　表補－1

誤

	b	exp(b)	exp(b)-1	[exp(b)-1]×100
言語	1.29	3.63	2.63	263

正

	δ	exp(δ)	exp(δ)-1	[exp(δ)-1]×100
言語	1.29	3.63	2.63	263

お詫びして訂正いたします。

〈謝辞〉

35，47 ページの訂正箇所は松原聖先生（日本大学教授），146，162 ページの訂正箇所は小田正雄先生（関西大学元教授），251 ページの訂正箇所は橋本賢一先生（神戸大学教授），298～299 ページの訂正箇所は椋寛先生（学習院大学教授），312～314 ページの訂正箇所は読者の方からのご教示によります。記して感謝申し上げます。